

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社等との面談

2. 日時：令和5年4月13日（木）13：30～15：50

3. 場所：原子力規制庁 2階大会議室（オンライン参加者を含む）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 清丸検査評価室長、米林上席検査監視官、笠川室長補佐、
沼田検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、
横塚副主任技術研究調査官、園田技術研究調査官
下崎技術研究調査官、西小野技術研究調査官、
後藤技術研究調査官、伊東技術参与

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループ リーダー

九州電力株式会社 原子力発電本部 リスク管理・解析グループ 副長 他1名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力保安研修所 原子力安全リスク評価 担当

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 泊発電所 防災・安全対策室 主任

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 担当 他1名

三菱重工業株式会社 炉心・安全技術部 信頼性評価技術課 主席 他2名

株式会社原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他1名

5. 要旨

(1) 関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）は、配布資料（1）に基づき、美浜3号機と高浜1／2号機のレベル1PRAモデルに関する原子力規制庁からの質問に対する回答について説明を行った。また、関西電力は、電力中央研究所が算出した新しい機器故障率を使用することによるPRAモデルへの影響について説明を行った。

(2) 原子力規制庁は、関西電力が作成したレベル1PRAモデルの適切性を確認していく上で、これらの情報を参考にするとともに、関西電力による詳細な説明を要するものについては、継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

(1) 事業者PRAモデル（美浜3号機と高浜1／2号機）の適切性確認のための質問事項（運転時内の事象レベル1PRA）（原子力規制庁資料）